

接続料と利用者料金との関係の検証(スタックテスト)の運用に関するガイドラインの一部改正案  
に対する意見及び意見に対する考え方

意見1 今回の3区分の追加は適切だが、専用サービスについては、特定電気通信役務に係る規制緩和が公正競争に影響を及ぼさないことを確認した上で、スタックテストの対象から除く必要がある。 また、検証区分については、旧来のネットワークに係るサービスの追加の可能性も含め、検証範囲等の見直しを行うことが必要。	再意見1	考え方1
<p>○ 今回のガイドラインの改正において、スタックテストの対象に「フレッツ光ネクスト」「ひかり電話」「ビジネスイーサワイド」の3区分を追加し、その接続料水準について検証を行うことは適切と考えます。</p> <p>「専用サービス(一般専用、高速デジタル伝送、ATM専用線等)」については、同サービスは特定電気通信役務からは除外されたものの、今後も指定電気通信役務であり続けることに変わりはなく、同サービスをスタックテストの対象から除くことは、少なくとも特定電気通信役務に係る規制の緩和が公正競争に影響を及ぼさないことを確認した上で行う必要があると考えます。従って、少なくとも今後数年間は状況を注視すべく、同サービスをスタックテストの検証対象として維持すべきと考えます。</p> <p>また、検証区分については、需要等市場環境の変化に伴い、今後新規サービスのみならず旧来のネットワークに係るサービスもスタックテストの対象として追加が必要となる可能性があることから、適宜検証範囲の見直しを行う必要があると考えます。</p> <p>スタックテストについては、「顧客営業」「販売サポートのうち特約店に支払う取次手数料」「宣伝」「企画」の費用に関しても営業費に含めるといった検証内</p>	<p>○ 左記意見に賛同いたします。</p> <p>スタックテストは、接続料の適正性の検証を可能とし、公正競争条件の確保につながる重要なルールであると認識しており、NTT東・西はガイドラインで示されたスケジュールに則って確実にスタックテストを実施すべきです。</p> <p>また、市場環境の変化等にあわせて、今後も適宜検証範囲の見直しを行う必要があると考えます。</p> <p>(KDDI)</p> <p>○ 専用サービスは年々需要が減少傾向にあり、「次世代ネットワークの接続料算定等に関する研究会」報告書に関する意見に対する考え方50にあるとおり、利用者の影響に及ぼす度合いが低くなっており、接続料水準の妥当性を判断する必要性も相対的に低下していると考えられることから、ガイドラインの改正案のとおりスタックテストの対象外とすることが適切であると考えます。</p> <p>(NTT東日本、NTT西日本)</p>	<p>○ 専用サービスは、本年1月の省令改正によって特定電気通信役務の対象外とされたように、利用者の影響に及ぼす度合いが低くなっており、接続料水準の妥当性を判断する必要性も相対的に低下していると考えられることから、スタックテストの対象外とすることが適切である。</p> <p>また、スタックテストは、接続料の妥当性を多角的に検証する観点から行われるものであり、必要に応じその検証対象の見直しを行うことが適切であるが、基本的には市場が拡大傾向にあるもので、新規に接続料が設定された機能を利用して提供されるサービス等を対象に検証を行うものである。</p>

<p>容の充実化、及び NTT 東西殿における設備等の調達価格が一般的な市場調達価格と照らし合わせて妥当か否かといった検証項目の追加等、その手法の見直しを行うべきと考えます。 (ソフトバンクBB、ソフトバンクテレコム、ソフトバンクモバイル)</p>		
<p>意見2 「フレッツ光ネクスト」「ひかり電話」を加えることは接続料の適正性の検証が可能となるので賛同。なお、今後、レガシー系サービスの追加の可能性も含め、検証範囲の見直しを行うことが必要。</p>	再意見2	考え方2
<p>○ 今回、接続料を設定する事業者が実施するスタックテストの検証範囲として、「フレッツ光ネクスト」及び「ひかり電話」を加えることが適当との考えが示されたことは、NGNの接続料の適正性の検証を可能とし、公正競争条件の確保につながるものであり、賛同します。NTT東・西はガイドラインで示されたスケジュールに則って確実にスタックテストを実施すべきです。 なお、今後の技術の進展や需要の変化に伴い、NGNのような新しいサービスのみならず、レガシー系サービスについてもスタックテストの対象として追加が必要となる可能性があります。そのため、適宜検証範囲の見直しを行う必要があると考えます。 (KDDI)</p>	<p>○ KDDI 殿の意見に賛同します。 NTT-NGN の接続料の適正性検証により、公正競争を確保するため、NTT 東西殿は今回ガイドラインに定められるとおり「フレッツ光ネクスト」及び「ひかり電話」に係るスタックテストを着実に実施することが必要と考えます。 (ソフトバンクBB、ソフトバンクテレコム、ソフトバンクモバイル)</p>	○ 考え方1に同じ